

～学生証がスマホのアプリになった！～ カードの学生証より手間いらずで、しかも無料*1 スマホを活かした 121 コミュニケーションまで実現

NSGグループのICTカンパニーである株式会社ジェイ・エス・エス(本社:新潟市中央区、代表取締役:秋田叔之)は、デジタル学生証を開発し全国の大学、専門学校、高校、各種スクール向けにサービスの正式提供を11月30日開始する。すでにNSGカレッジリーグでは先行運用中だという。

そのデジタル学生証とはどんなものか。名称は「がプリ!」というから面白い。その機能は「プッシュ通知」「時間割」「出欠登録」「校歌演奏」「災害時の安否確認」など、なんと様々な機能を備えている。教育現場における学生・生徒のスマートフォンの先進的な活用事例として注目を集めるのは間違いない。しかも学生証の公開アプリは国内初とのことだ。(2017年11月現在 JSS 調べ)



【背景】

同社代表の秋田氏は、開発の背景について次のように語っている。



「きっかけは(NSGグループの)池田代表からの電話だったんです。『来年から学生証をアプリにできないか』と。私の頭の中ではその時漠然とした成功の予感が生まれました。まだ発売前ですけどね(笑)何しろ旧来のカード型学生証は作成費用がバカにならない上に、携行してもらうことすら難しいのです。もったいないですよ。ところがスマホなら所有率はほぼ100%に近い状況であり*2、チャットや動画再生なども当たり前でできちゃいます。」

すでに予約は殺到しており、来年度に向けてその数は100校をくだらないという。クラウドのアプリだからこそ機能追加やバージョンアップも随時行われ、卒業時の回収も要らない上にOB証としての利用もできるようになるらしい。無限の可能性を秘めた製品と言える。

*1 基本機能は完全無料、追加機能は別途料金がかかる

*2 内閣府 平成28年度青少年のインターネット利用環境実態調査では、高校生時点のスマートフォン所有率が約95%となっている

【アプリの機能】

デジタル学生証: 学生証を表示する基本機能
プッシュ通知: メールよりも確認率の高い連絡手段
学生手帳: 校歌、沿革、校則、校訓などをアプリ内で表示・再生
時間割: アプリから授業科目・教室名・講師名を確認
出席登録: 出欠登録を自動化(ビーコン^{*3}利用)
安否確認: 災害時の速やかな安否確認機能
学校連絡: 学校への通話、及び欠席・遅刻連絡機能
通学証明: 鉄道等交通機関の窓口で呈示

【アプリ概要】

利用料 : 基本機能 0 円、オプション追加は最大100円
※金額は学生 1 人当月額
対応 OS : iOS10、Android4.4 以上
URL : <https://gappli.mobi/>

株式会社 JSS について(<https://www.jss-net.com>)

1986 年創業。クラウドファーストを掲げる同社はセールスフォースやマイクロソフトのパートナーでもあり、ICT に関するソリューションや学校業務支援トータルパッケージ「サクラ」やオフィスの受付アプリ「KINASE」などのオリジナルクラウドシステムやネットワーク関連事業を NSG グループのみならず、全国に提供している。年商 8.6 億円、従業員数 40 名。目標は新潟発、世界 No.1 サービスの創出。

【本件に関する問い合わせ】

新潟県新潟市中央区西堀通 3-790
株式会社ジェイ・エス・エス
担当: 有賀 和寿(あるが かずとし)
Tel: 025-226-7410
Mail: aruga@jss-net.com

事業創造で、幸せな社会を。

NSG
GROUP

^{*3} 近距離無線通信を使い、一定範囲内にあるスマホなどに電波を発信し、特定のアプリと情報を通信できる端末